



国民春闘共闘

第52号

2018年9月11日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館

☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

18春闘・第8回賃上げ集計（最終集計）

単純平均 5,493 円・2.00%、加重平均 6,126 円・2.09%

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は8月10日、第8回目の賃金改定集計（最終集計）を行い、22単産・部会から報告が寄せられました

<回答状況>

	2018年	2017年（最終）
登録組合数	818	823
回答引き出し組合数	513 (62.7%)	542 (65.1%)
うち金額・率の回答	355	342
うち「定昇確保」など言葉による回答	158	146
うち上積み獲得	91 (17.7%)	98 (18.1%)
うち妥結組合数	216 (42.1%)	253 (64.5%)

<回答内容>

集計方法&対象		2018年	2017年（最終）	(同期比)
単純平均	額（円）	5,493	5,297	+196
	率（%）	2.00	2.02	-0.02
加重平均	額（円）	6,126	5,817	+309
	率（%）	2.09	2.07	+0.02
	組合員数	83,465	83,930	

<前年実績との比較が可能な組合における回答状況（金額での比較）>

前年比較可能な組合数	うち前年実績以上	(前年超)	(同 額)
312	196 (61.9%)	149	47

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	金額・率	前年実績	(前年比)
単純平均	額（円）	312	5,529	5,425	+104
	率（%）	221	2.05	2.01	-0.04

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※「定昇確保」など言葉による回答は計算から除いています。

〈集計結果の概要〉

回答引出し・妥結状況

2018 春闘の最終集計となる第 8 回集計には、22 単産・部会から報告が寄せられました。登録 818 組合のうち、回答を引き出したのは 513 組合・62.7%です。回答引出し率は前年の最終集計（2017 年 8 月 3 日現在・65.1%）を 2.4 ㊦下回っています。また、513 組合のうち、「定昇確保」などの言葉による回答を得た組合が 158 組合で、金額・率などが明らかになっている有額回答を得た組合は 355 組合となっています。

また、回答引出し組合の 17.7%にあたる 91 組合が 2 次回答以上と上積み回答を引き出しています。そのうち、検数労連の二つの組合で 9 次回答、化学一般の組合が 7 次回答を引き出した他、化学一般（3 組合）、JMITU（5 組合）、全倉運（1 組合）、日本医労連（1 組合）、地方マスコミ（1 組合）で 4 次~6 次回答引き出し組合を引き出すなど粘り強い交渉を重ねています。なお、妥結組合は 216 組合（42.1%）とっています。

回答内容

有額回答を引き出した 355 組合での単純平均（一組合あたりの平均）は 5,493 円・2.00%で、前年実績（5,297 円・2.02%）比で 196 円増・-0.02 ㊦となっています。加重平均（組合員一人あたりの平均）は 6,126 円、2.09%となり、前年実績（5,817 円・2.07%）比で、+309 円・+0.02 ㊦となっています。全体として、ほぼ前年実績比で若干の上回る回答状況となっています。

2018 春闘の回答状況の変遷をみると、第 1 回集計（3/15）では、加重平均 5,369 円・1.86%のあと、第 2 回集計で 6,084 円・2.05%と回答水準が大幅に上がりました。その後、6,083 円・2.07%（第 3 回）、6,073 円・2.07%（第 4 回）、6,206 円・2.10%、（第 5 回）、6,196 円・2.09%（第 6 回）、6,139 円・2.07%（第 7 回）、6,126 円・2.09%（今回）と、ほぼ 6,100 円・2.08%をはさんで推移しました。

単産部会ごとの回答水準（加重平均）を見ると、出版労連が 10,000 円を超えたほか、映演労連 9,000 円超え、民放労連 8,000 円超える成果を獲得しています。また、率では JMITU の 11 組合、全農協労連 4 組合、民放労連 4 組合、映演労連 3 組合のほか、建設関連労連、全倉運、金融労連、全印総連、地方マスコミの組合で 3%以上の引き上げを獲得しました。

同一比較可能組合の回答状況

同一組合での比較が可能な 312 組合の単純平均額の結果を前年実績と比べると、今期は 5,529 円で、前年実績（5,425 円）を 104 円上回りました。率では、104 組合の比較で 2.05%と前年実績（2.01%）を 0.04 ㊦上回りました。また、比較可能組合の 61.9%にあたる 196 組合が前年実績以上の回答を引き出しています。

非正規で働くなかまの賃上げ状況

非正規で働く仲間の賃上げ状況については、11単産229組合から369件の成果獲得の報告が寄せられています。前年最終集計(224組合・243件)との比較では、組合数・獲得件数で報告数が5組合増・39件増と微増となっています。

改定状況を見ると、時給制労働者では昨年を上回る253件の獲得報告が寄せられています。そのうち引上げ額が報告された148件の平均では、全国一般、民放労連、出版労連、日本医労連などで前年実績を上回ったこともあり、全体で23.3円、(月155時間での換算で3,611円)の引き上げと前年実績を上回りました。また、率でも41件平均で2.27%の引き上げとなり、前年実績を上回る獲得状況となっています。

日給制労働者では、3単産で6件の成果報告があり、平均引き上げ額は168円となっています。また、月給制の非正規労働者の改定状況では、9単産で69件の成果獲得となっています。額の報告のあった38件平均で2,675円の引き上げとなっています。

また、再雇用・継続労働者の処遇改善では、時給制・月給制を合わせて、6単産から39件の獲得報告があり、そのうち時給制再雇用者は、額の報告のあった14件平均で24.0円の引き上げ、月給制再雇用者は、額の報告のあった10件の平均で4,026円となっています。

企業内最賃協定の状況

企業内最賃協定の獲得状況について、JMITU、化学一般労連、生協労連、全印総連、民放労連、出版労連、映演労連、日本医労連の8単産91組合から244件の獲得報告が寄せられています。化学一般労連、生協労連、出版労連、映演労連、日本医労連では、昨年の報告数を超えての報告となっています。また、新協定額の報告のあった単純平均は、時間額は979円(97件)、日額の単純平均7,901円(34件)、月額額の単純平均171,121円(46件)となっています。

●連合の第7回回答集計(最終) (平均賃上げ方式・7月6日公表) は以下のとおりです。

集計対象	集計組合		加重平均			
	組合数	人数(万)	金額	率	昨年	率
全組合	5,575	290.1	5,934	2.07	5,712	1.98
中小共闘	4,073	37.6	4,810	1.99	4,490	1.87

※中小共闘は、規模300人未満

※単純集計(一組合あたりでの平均)での公表なし

●連合・第7回回答集計(非正規雇用労働者の賃金引上げ・7月5日公表) は以下のとおりです。

集計対象	時間額					
	単純平均			加重平均		
	組合数	賃上額	平均時給	人数(万)	賃上額	平均時給
全組合	358	21.59	972.10	75.6	24.70	970.62

集計対象	月額					
	単純平均			加重平均		
	組合数	賃上額	率(参考)	人数(万)	賃上額	率(参考)
全組合	145	3,977	1.95	3.7	4,146	2.03

●日本経団連の大手企業妥結結果(7月10日現在) は以下のとおりです。

集計対象	集計企業		加重平均				単純平均			
	社数	人数	金額	率	昨年	率	金額	率	昨年	率
加盟企業	116	—	8,044	2.53	7,755	2.34	7,294	2.27	6,648	2.11

※調査対象は、原則として東証一部上場、従業員数500人以上、主要21業種大手252社

安倍9条改憲・労働法制改悪NO!
賃上げと安定雇用で地域活性化!